

最終選考に残った6名。松岡史子さん（右端）がミスキャンに選ばれた



## 松岡さんに栄冠！

「私こそミスキャン！」。紅葉の見頃が最盛期を迎えた11月26日に京都でミスキャンパス・同志社2009が開催された。美の頂点を競うミスキャンは関西では珍しく、メディアの関心も高かった。しかし、最も注目すべきは「京都を発信する広告塔に相応しい人物の選出」という開催理由だ。

コンテストの審査基準は知識・個性・美しさの3点。京都をアピールできる人物を選びたいという思い

は、京都検定を審査に盛り込んだところからも間見えたと。またイベントを通じて学生に地元愛や母校愛を生みきっかけを提供するという狙いもあった。代表の小山田貴幸さんは「この活動を通じて京都や母校に愛着を感じてもらい、一人でも多くの学生が誇りをもって生きるきっかけになればいい」と語る。同大のミスキャンに課せられた使命は見た目の美しさ以上の責任を伴う。（渡辺さやか）